



学校だより 6月号

鶴ヶ子

令和5年6月1日(木)

内灘町立鶴ヶ丘小学校

校訓 強く 正しく すこやかに

子どもの学び 大人の役割

校長 堀井 洋一

さわやかな初夏を迎え、校庭の木々の緑も深くなってきました。

1学期も折り返し点にかかろうとしています。この2ヶ月間で鶴ヶ丘小学校の子どもたちは様々な活動を通して、たくましく元気に学校生活を送っています。

5月初めには「春の遠足」がありました。低学年は「蓮湖渚公園」、中学年は「白帆台第二公園」、そして高学年は金沢市の「北部公園」への遠足でした。晴天の下、友達といっしょに思いきり遊んだり、弁当を食べたりと日頃の学校生活とは違うゆったりとした時間を過ごすことができました。帰り道には脚が痛くなってしまった子どもいたようでしたが、長い距離を歩く機会は「楽しくもあり、つらさもある」貴重な体験になったことと思います。

また、6年生は、ふれあいタイムでの活動や委員会やクラブの運営。5年生は「田植え体験」や「町音楽会」にむけた練習。4年生は「器械運動交歓会」の練習、校内発表会。そして5月31日には向粟崎小学校での本番に臨みました。また、3年生は慣れない筆を使いながら毛筆に挑戦し、少しずつ毛筆のコツを身につけています。2年生は「なかよしの会（1, 2年生の交流会）」でのお兄さんお姉さんとしての役割に達成感や充実感を味わうことができたようです。そして、1年生は、生活科の時間にアサガオなどの種を植えました。これから夏に向けて、きれいな花が咲くのが楽しみです。毎日子どもたちが見せてくれる笑顔や明るい表情、元気な声は、私たち教職員にとってもとても気持ちが良いものです。

その一方、日々の学校生活の中で、子どもたちは「小さな失敗」も経験しています。「うまくできなかったこと」や「友だちとケンカしてしまったこと」等、子どもにとって心地よさとは逆の経験もその子にとっての「学びのチャンス」、「成長のチャンス」になります。

「できないことに対してあきらめず立ち向かう気持ち」「友だちに相談する勇気や助けてもらおうとする気持ち」そして「自分の行動をふりかえり、相手との関係を修復しようとする気持ち」などは、この「小さな失敗」がなければ身につくものではありません。

学校では、子どもたちが毎日元気で楽しい学校生活を送ることができるように子どもたちの努力の過程を認めて勇気づけていきたいと考えています。それと同様に、うまくいかないことにぶつかった子どもたちにも丁寧に寄り添い見守りながら、自分の力で困難を解決する力を育てていきます。

ご家庭におかれましても、お子さまへの「励まし」や「勇気づけ」。そして「あたたかい見守り」をよろしくお願いいたします。